

ゆりかご だより



2019年9月発行 No.31



あちらこちらに記録的な大雨が降るなど天候不順な日々が続いています。8月の病児保育室ゆりかごは感冒や咽頭炎・気管支炎のお子さんのご利用が多く、他にアデノウイルス感染症・感染性胃腸炎・RSウイルス感染症・中耳炎・ヘルペス歯肉口内炎など様々な感染症のお子さんのご利用がありました。まだまだ残暑も予想されます。疲れをためないように早めの休息・十分な睡眠をこころがけましょう。

どっちにする？



毎日通う場所ではない病児保育室。その中でお子さんたちが自分らしく安心して過ごせるよう、保育中の様々な場面で、症状をよく見ながらいくつか選択肢を提案し、お子さん自身で何がいいか選べるようにしています。



どっち食べる？



どれつくる？



◇9月1日は防災の日

◇9月9日は救急の日

飲料水や持ち出し品を点検し、いざという時に備えましょう。



10月から保育料無償化が始まります。

病児保育室ゆりかごは対象施設です。該当する方は、領収証兼提供証明書を発行いたしますので、お申し出ください。



どっち着る？

自分で選べることで満足度が高まり、やる気がでたり食欲がでたりすることも。いやいや期の頃のお子さんでも落ち着いて過ごせることが多いです。



看護師より

～喘息かも？と思ったら～



9月は台風が来やすい時期。そんな時に、起きやすいのが喘息発作です。喘息は、気圧の変化・アレルギー物質への接触などを契機に、気管支が狭くなることで呼吸がしんどくなる病気です。0～2歳頃までのお子さんは、気管支が狭く風邪でも喘息と同じような症状が出やすいため、ゼーゼーしたからと言って必ずしも喘息とは限りません。ただ、風邪症状が無いのに突然ゼーゼーしたり、年に何回もゼーゼーしたりする場合は、喘息が疑われます。喘息発作時は気管支を広げる薬を使用します。しかし、喘息は気管支が慢性的に炎症している病気のため、大発作を起こしたり、年に発作が何回も出るという場合には、元気な時でも発作を起こしにくくする予防の薬を使用することがあります。気になる方は医師に相談してみてください。



堺市訪問型病児保育センター

サポート会員が利用会員の自宅等を訪問し、病気などのお子さんを保育します。

病児保育施設への送迎も行います。

詳しくはホームページをご覧ください

<http://yurikagonetwork.com/houmon>



病児保育室ゆりかご

事前登録は随時受け付けています。

電話受付時間 平日 8:00～18:00

〒599-8247 堺市中区東山 1042

電話/FAX 072-234-6880

<http://yurikagonetwork.com/hoikushitsu/>



次回

休日登録説明会

9月8日(日)

10:30～11:30

(要予約)